



## 人間関係と心理劇

### －問題（トラブル・トラウマ等）への対応－

私たちは日常生活のなかで様々な人間関係を体験し、時には深い悲しみや激しい怒りを抱え込み、傷ついたり、不安に揺れ動くこともあります。心理劇は自発的な劇的表現、ロールプレイにより、人間関係の悩みや問題の解決の方向を探ります。また、社会の中で体験していく様々な人間関係のプロセスに気づき、よりよい人生や日常生活の改善に向けて、新たな一歩を踏み出す機会となるでしょう。人と人との素晴らしい出会いやコミュニケーション、人間教育のツールとして、心理劇は重要な役割を果たすことが期待されます。

今回の講座は、「人間関係と心理劇 ー問題（トラブル、トラウマ等）への対応ー」というテーマで、長年心理臨床や教育、集団精神療法、心理劇に関わり、人間関係の問題への対応に造詣が深い高良聖氏を講師としてお呼びし、講演とワークショップをお願いしております。

是非、皆様のご参加をお待ちしております。

\*サイコドラマ（日本には心理劇として松村康平、外林大作等によって導入）は、J.L.モレノによって1920年代から30年代にかけて創始された集団精神療法です。モレノはウィーンで1924年にはじめて「即興劇場」（自発性の劇場）をつくり、その後はアメリカに移住し、1936年には、ニューヨーク州ビーコンのサナトリウムに治療を目的としたサイコドラマ劇場を開設しました。また「ビーコンハウス」というサイコドラマのスクールを開設し、多くのサイコドラマティストを誕生させました。

日時：2010年3月7日（日）13時～16時（受付12時30分～）

会場：東京家政学院大学 三番町校舎 606教室

（〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地）

### <講演とワークショップ>

講師による「人間関係と心理劇」の講演の後、「トラウマ等の人間関係の問題への対応」をテーマに心理劇のワークショップを行います。

講師：高良聖（明治大学教授 日本心理劇学会理事長 臨床心理士）

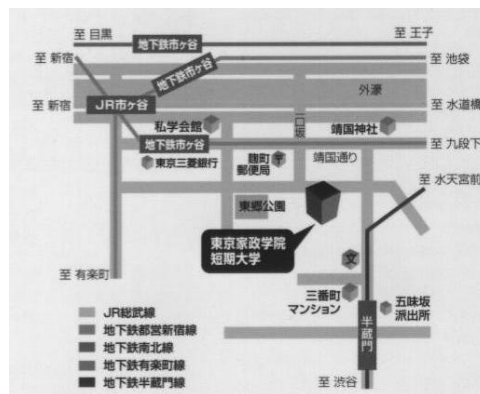
コーディネーター：吉川晴美（プロジェクト研究推進委員会・東京家政学院大学）  
小山望（研修委員会・東京理科大学）

**\*高良聖氏の紹介\***

ニューヨーク・ビーコンハウスにて心理劇研修。獨協医科大学病院精神科神経科臨床心理士を勤めた後、現在、明治大学文学部心理社会学科教授。臨床心理士、博士（医学）。カウンセリング論、心理検査法、グループアプローチについての教育を行っている。

著書「雰囲気としての心理面接—そこにある10の雰囲気」日本評論社、編著書「警告！早期教育が危ない—臨床現場からの報告」日本評論社、「サイコドラマの現在」現代のエスプリ 至文堂、翻訳「サイコドラマ—その体験と過程」金剛出版、論文「トラウマのサイコドラマに関する技法の研究」明治大学心理社会学研究

アクセス：**\*JR 中央線・総武線  
有楽町線・南北線  
都営地下鉄新宿線**  
「市ヶ谷駅」下車 徒歩8分  
**\*半蔵門線「半蔵門駅」下車 徒歩8分**



会費：会員 1000 円（一般 2000 円）学生 500 円

修了証明書：終了後にお渡しいたします。

申し込み方法：メールまたは fax でお名前・連絡先・会員種別をお知らせください。

Fax：042（782）0927

メール：tajiri@kasei-gakuin.ac.jp

問い合わせ：TEL 042（782）0927 東京家政学院大学 吉川研究室

きりとり

(FAX または はがきに貼って送付してください)

申し込み先 〒194-0292 東京都町田市相原町 2600 東京家政学院大学 児童学科 田尻宛

FAX：042-782-0927

MAIL：tajiri@kasei-gakuin.ac.jp

日本人間関係学会 講演とワークショップ 2010 参加申込書

氏名		男 ・ 女
会員 ・ 非会員 ・ 学生		
所属		
住所	〒	
TEL		